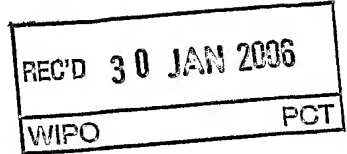


特許協力条約



PCT

特許性に関する国際予備報告（特許協力条約第二章）

（法第 12 条、法施行規則第 56 条）
〔PCT36 条及び PCT 規則 70〕

出願人又は代理人 の書類記号 2005P053-PCT	今後の手続きについては、様式 PCT/IPEA/416 を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JP2005/003505	国際出願日 (日.月.年) 02.03.2005	優先日 (日.月.年) 02.03.2004
国際特許分類 (IPC) Int.Cl. G11B20/10(2006.01), G11B20/18(2006.01), G11B27/00(2006.01), H04N5/91(2006.01), H04N5/93(2006.01)		
出願人 (氏名又は名称) パイオニア株式会社		

<p>1. この報告書は、PCT35 条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。 法施行規則第 57 条 (PCT36 条) の規定に従い送付する。</p> <p>2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で <u>3</u> ページからなる。</p> <p>3. この報告には次の附属物件も添付されている。</p> <p>a. <input checked="" type="checkbox"/> 附属書類は全部で <u>7</u> ページである。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 補正されて、この報告の基礎とされた及び／又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び／又は図面の用紙 (PCT 規則 70.16 及び実施細則第 607 号参照)</p> <p><input type="checkbox"/> 第 I 欄 4. 及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの国際予備審査機関が認定した差替え用紙</p> <p>b. <input type="checkbox"/> 電子媒体は全部で _____ (電子媒体の種類、数を示す)。 配列表に関する補充欄に示すように、電子形式による配列表又は配列表に関連するテーブルを含む。 (実施細則第 802 号参照)</p>	
<p>4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 第 I 欄 国際予備審査報告の基礎</p> <p><input type="checkbox"/> 第 II 欄 優先権</p> <p><input type="checkbox"/> 第 III 欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成</p> <p><input type="checkbox"/> 第 IV 欄 発明の単一性の欠如</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 第 V 欄 PCT35 条 (2) に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明</p> <p><input type="checkbox"/> 第 VI 欄 ある種の引用文献</p> <p><input type="checkbox"/> 第 VII 欄 国際出願の不備</p> <p><input type="checkbox"/> 第 VIII 欄 国際出願に対する意見</p>	

国際予備審査の請求書を受理した日 31.08.2005	国際予備審査報告を作成した日 11.01.2006	
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号 100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目 4 番 3 号	特許庁審査官 (権限のある職員) 戸島 弘詩	5Q 2957
電話番号 03-3581-1101 内線 3591		

様式 PCT/IPEA/409 (表紙) (2005 年 4 月)

第 I 欄 報告の基礎

1. 言語に関し、この予備審査報告は以下のものを基礎とした。

- ☒ 出願時の言語による国際出願
☐ 出願時の言語から次の目的のための言語である _____ 語に翻訳された、この国際出願の翻訳文
☐ 国際調査 (PCT規則12.3(a)及び23.1(b))
☐ 国際公開 (PCT規則12.4(a))
☐ 国際予備審査 (PCT規則55.2(a)又は55.3(a))

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

☐ 出願時の国際出願書類

☒ 明細書

第 1-3, 5, 8-25 ページ、出願時に提出されたもの

第 4, 6, 7 ページ*, 31.08.2005 付けで国際予備審査機関が受理したもの

第 _____ ページ*, _____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

☒ 請求の範囲

第 1, 3-6, 8-11, 13-15 項、出願時に提出されたもの

第 _____ 項*, PCT19条の規定に基づき補正されたもの

第 2, 7, 12 項*, 31.08.2005 付けで国際予備審査機関が受理したもの

第 _____ 項*, _____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

☒ 図面

第 1-6 ページ/図、出願時に提出されたもの

第 _____ ページ/図*, _____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

第 _____ ページ/図*, _____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

☐ 配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. ☐ 補正により、下記の書類が削除された。

- ☐ 明細書 第 _____ ページ
☐ 請求の範囲 第 _____ 項
☐ 図面 第 _____ ページ/図
☐ 配列表 (具体的に記載すること) _____
☐ 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること) _____

4. ☐ この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則 70.2(c))

- ☐ 明細書 第 _____ ページ
☐ 請求の範囲 第 _____ 項
☐ 図面 第 _____ ページ/図
☐ 配列表 (具体的に記載すること) _____
☐ 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること) _____

* 4. に該当する場合、その用紙に "superseded" と記入されることがある。

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性 (N)	請求の範囲 1-15	有
	請求の範囲	無
進歩性 (IS)	請求の範囲 1, 3, 6, 8, 11, 13	有
	請求の範囲 2, 4, 5, 7, 9, 10, 12, 14, 15	無
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲 1-15	有
	請求の範囲	無

2. 文献及び説明 (PCT規則 70.7)

文献1: J P 2002-152681 A (アルパイン株式会社)
2002.05.24, 段落【0009】-【0031】
& EP 1205932 A2

文献2: J P 7-272415 A (株式会社東芝)
1995.10.20, 請求項1, 3, 段落【0032】、【0033】
(ファミリーなし)

請求の範囲2, 4, 5, 7, 9, 10, 12, 14, 15に係る発明は、文献1と文献2とにより進歩性を有しない。

文献1には、制御データNV_PCK (再生制御データに相当) と後続のオーディオパックA_PCK、ビデオパックV_PCK (プレゼンテーションデータに相当) を含むビデオ・オブジェクト・ユニットVOBU (データユニットに相当) を再生し、フレーム開始位置情報読取部111a (異常検出手段に相当) がNV_PCKのデータ形式があていないと判定した場合でも、VOBUが読取れる時点まで早送りすることで再生動作を継続する記録媒体再生装置が記載されている。

文献2には、ユニットデータを再生する際、ヘッダデータ401 (再生制御データに相当) に訂正不能エラーが発生した場合に、ヘッダデータにエラーが存在しない次のユニットのデータを再生する技術に加えて、エラーが発生したヘッダデータを含むユニットの音声データ (プレゼンテーションデータに相当) を再生する技術が記載されており、これを文献1に記載された技術に用いて、NV_PCKのデータ形式があていないと判定した場合に、VOBUが読取れる時点まで早送りの方式を、異常を検出した時点で再生制御データが特定していたプレゼンテーションデータから再生する方式に置換することは、当業者にとって容易である。

請求の範囲1, 6, 11に係る発明について、「異常がある再生制御データセットを検出して... 該検出したデータセットに属する最初の『ファイル』に格納されているプレゼンテーションデータからの再生を行わせる」点は、いずれの文献にも記載されておらず、当業者にとって自明なものでもない。

請求の範囲3, 8, 13に係る発明について、データセット、ファイル、及び、データユニットによって階層化されたデータに対して、どの階層の再生制御データに異常があるかによって異なる処理を行う点については、いずれの文献にも記載されておらず、当業者にとって自明なものでもない。

ータを再生することが可能な情報再生装置及び情報再生方法を提供することを目的とする。

課題を解決するための手段

[0015] 請求項 1 に記載の発明は、プレゼンテーションデータを格納する複数のファイルと前記各ファイルの内容を管理するための再生制御データとを有するデータセットを 1 又は複数備えて形成されたコンテンツを再生する情報再生装置であって、前記再生制御データの制御内容に従って前記プレゼンテーションデータの再生を行う信号処理手段と、前記再生制御データの異常の有無を検出する異常検出手段と、前記信号処理手段が前記プレゼンテーションデータを再生している時に、前記異常検出手段が前記再生制御データに異常があることを検出すると、前記異常がある再生制御データの属するデータセットを検出し、前記信号処理手段に、該検出したデータセットに属する前記再生制御データに従うことなく、該検出したデータセットに属する最初のファイルに格納されているプレゼンテーションデータからの再生を行わせる制御手段と、を備えることを特徴とする。

[0016] 請求項 2 に記載の発明は、プレゼンテーションデータと前記プレゼンテーションデータの内容を管理するための再生制御データとを有するデータユニットを 1 又は複数備えて形成されたコンテンツを再生する情報再生装置であって、前記再生制御データの制御内容に従って前記プレゼンテーションデータの再生を行う信号処理手段と、前記再生制御データの異常の有無を検出する異常検出手段と、前記信号処理手段が前記プレゼンテーションデータを再生している時に、前記異常検出手段が前記再生制御データに異常があることを検出すると、前記異常がある再生制御データの属するデータユニットを検出し、前記信号処理手段に、該検出したデータユニットに属する前記再生制御データに従うことなく、前記異常を検出した時点で前記再生制御データが特定していたプレゼンテーションデータから再生を継続させる制御手段と、を備えることを特徴とする。

[0017] 請求項 3 に記載の発明は、複数のファイルと前記各ファイルの内容を管理するための第 1 の再生制御データとを有するデータセットを 1 又は複数備えて形成されると共に、前記ファイルがプレゼンテーションデータと前記プレゼンテーションデータの内容を管理するための第 2 の再生制御データとを有する 1 又は複数のデータユニットを

再生を行わせる制御工程と、を備えることを特徴とする。

[0021] 請求項7に記載の発明は、プレゼンテーションデータと前記プレゼンテーションデータの内容を管理するための再生制御データとを有するデータユニットを1又は複数備えて形成されたコンテンツを再生する情報再生方法であって、前記再生制御データの制御内容に従って前記プレゼンテーションデータの再生を行う信号処理工程と、前記再生制御データの異常の有無を検出する異常検出工程と、前記信号処理工程において前記プレゼンテーションデータを再生している時に、前記異常検出工程によって前記再生制御データに異常があることを検出すると、前記異常がある再生制御データの属するデータユニットを検出し、前記信号処理工程において、該検出したデータユニットに属する前記再生制御データに従うことなく、前記異常を検出した時点で前記再生制御データが特定していたプレゼンテーションデータから再生を継続させる制御工程と、を備えることを特徴とする。

[0022] 請求項8に記載の発明は、複数のファイルと前記各ファイルの内容を管理するための第1の再生制御データとを有するデータセットを1又は複数備えて形成されると共に、前記ファイルがプレゼンテーションデータと前記プレゼンテーションデータの内容を管理するための第2の再生制御データとを有する1又は複数のデータユニットを備えて形成されたコンテンツを再生する情報再生方法であって、前記第1、第2の再生制御データの制御内容に従って前記プレゼンテーションデータの再生を行う信号処理工程と、前記第1、第2の再生制御データの異常の有無を検出する異常検出工程と、前記信号処理工程において前記プレゼンテーションデータを再生している時に、前記異常検出工程によって前記第1の再生制御データに異常があることを検出すると、前記異常がある第1の再生制御データの属するデータセットを検出し、前記信号処理工程において、該検出したデータセットに属する前記再生制御データに従うことなく、該検出したデータセットに属する最初のファイルに格納されているプレゼンテーションデータからの再生を行わせ、前記信号処理工程において前記プレゼンテーションデータを再生している時に、前記異常検出工程によって前記第2の再生制御データに異常があることを検出すると、前記異常がある第2の再生制御データの属するデータユニットを検出し、前記信号処理工程において、該検出したデータユニ

ットに属する前記再生制御データに従うことなく、該検出したデータユニットに属するプレゼンテーションデータを継続して再生させる制御工程と、を備えることを特徴とする。

[0023] 請求項 1 1 に記載の発明は、プレゼンテーションデータを格納する複数のファイルと前記各ファイルの内容を管理するための再生制御データとを有するデータセットを 1 又は複数備えて形成されたコンテンツの再生を、コンピュータに行わせるプログラムであって、前記コンピュータに、前記再生制御データの制御内容に従って前記プレゼンテーションデータの再生を行わせる信号処理ステップと、前記コンピュータに、前記再生制御データの異常の有無を検出させる異常検出ステップと、前記コンピュータが前記信号処理ステップによって前記プレゼンテーションデータを再生している時に、前記異常検出ステップによって前記再生制御データに異常があることを検出すると、前記異常がある再生制御データの属するデータセットを検出させ、該検出したデータセットに属する前記再生制御データに従うことなく、該検出したデータセットに属する最初のファイルに格納されているプレゼンテーションデータからの再生を前記信号処理ステップによって行わせる制御ステップと、を備えることを特徴とする。

[0024] 請求項 1 2 に記載の発明は、プレゼンテーションデータと前記プレゼンテーションデータの内容を管理するための再生制御データとを有するデータユニットを 1 又は複数備えて形成されたコンテンツの再生を、コンピュータに行わせるプログラムであって、前記コンピュータに、前記再生制御データの制御内容に従って前記プレゼンテーションデータの再生を行わせる信号処理ステップと、前記コンピュータに、前記再生制御データの異常の有無を検出させる異常検出ステップと、前記コンピュータが前記信号処理ステップによって前記プレゼンテーションデータを再生している時に、前記異常検出ステップによって前記再生制御データに異常があることを検出すると、前記異常がある再生制御データの属するデータユニットを検出させ、該検出したデータユニットに属する前記再生制御データに従うことなく、前記異常を検出した時点で前記再生制御データが特定していたプレゼンテーションデータから前記信号処理ステップによって継続して再生させる制御ステップと、を備えることを特徴とする。

[0025] 請求項 1 3 に記載の発明は、複数のファイルと前記各ファイルの内容を管理する

請求の範囲

[1] プレゼンテーションデータを格納する複数個のファイルと前記各ファイルの内容を管するための再生制御データとを有するデータセットを1又は複数備えて形成されたコンテンツを再生する情報再生装置であって、

前記再生制御データの制御内容に従って前記プレゼンテーションデータの再生を行う信号処理手段と、

前記再生制御データの異常の有無を検出する異常検出手段と、

前記信号処理手段が前記プレゼンテーションデータを再生している時に、前記異常検出手段が前記再生制御データに異常があることを検出すると、前記異常がある再生制御データの属するデータセットを検出し、前記信号処理手段に、該検出したデータセットに属する前記再生制御データに従うことなく、該検出したデータセットに属する最初のファイルに格納されているプレゼンテーションデータからの再生を行わせる制御手段と、を備えることを特徴とする情報再生装置。

[2] (補正後) プレゼンテーションデータと前記プレゼンテーションデータの内容を管理するための再生制御データとを有するデータユニットを1又は複数備えて形成されたコンテンツを再生する情報再生装置であって、

前記再生制御データの制御内容に従って前記プレゼンテーションデータの再生を行う信号処理手段と、

前記再生制御データの異常の有無を検出する異常検出手段と、

前記信号処理手段が前記プレゼンテーションデータを再生している時に、前記異常検出手段が前記再生制御データに異常があることを検出すると、前記異常がある再生制御データの属するデータユニットを検出し、前記信号処理手段に、該検出したデータユニットに属する前記再生制御データに従うことなく、前記異常を検出した時点で前記再生制御データが特定していたプレゼンテーションデータから再生を継続させる制御手段と、を備えることを特徴とする情報再生装置。

[3] 複数個のファイルと前記各ファイルの内容を管理するための第1の再生制御データとを有するデータセットを1又は複数備えて形成されると共に、前記ファイルがプレゼンテーションデータと前記プレゼンテーションデータの内容を管理するための第2の

記異常がある再生制御データの属するデータセットを検出し、前記信号処理工程において、該検出したデータセットに属する前記再生制御データに従うことなく、該検出したデータセットに属する最初のファイルに格納されているプレゼンテーションデータからの再生を行わせる制御工程と、を備えることを特徴とする情報再生方法。

- [7] (補正後) プレゼンテーションデータと前記プレゼンテーションデータの内容を管理するための再生制御データとを有するデータユニットを1又は複数備えて形成されたコンテンツを再生する情報再生方法であって、

前記再生制御データの制御内容に従って前記プレゼンテーションデータの再生を行う信号処理工程と、

前記再生制御データの異常の有無を検出する異常検出工程と、

前記信号処理工程において前記プレゼンテーションデータを再生している時に、前記異常検出工程によって前記再生制御データに異常があることを検出すると、前記異常がある再生制御データの属するデータユニットを検出し、前記信号処理工程において、該検出したデータユニットに属する前記再生制御データに従うことなく、前記異常を検出した時点で前記再生制御データが特定していたプレゼンテーションデータから再生を継続させる制御工程と、を備えることを特徴とする情報再生方法。

- [8] 複数のファイルと前記各ファイルの内容を管理するための第1の再生制御データとを有するデータセットを1又は複数備えて形成されると共に、前記ファイルがプレゼンテーションデータと前記プレゼンテーションデータの内容を管理するための第2の再生制御データとを有する1又は複数のデータユニットを備えて形成されたコンテンツを再生する情報再生方法であって、

前記第1、第2の再生制御データの制御内容に従って前記プレゼンテーションデータの再生を行う信号処理工程と、

前記第1、第2の再生制御データの異常の有無を検出する異常検出工程と、

前記信号処理工程において前記プレゼンテーションデータを再生している時に、前記異常検出工程によって前記第1の再生制御データに異常があることを検出すると、前記異常がある第1の再生制御データの属するデータセットを検出し、前記信号処理工程において、該検出したデータセットに属する前記再生制御データに従うこと

なく、該検出したデータセットに属する最初のファイルに格納されているプレゼンテーションデータからの再生を行わせ、前記信号処理工程において前記プレゼンテーションデータを再生している時に、前記異常検出工程によって前記第2の再生制御データに異常があることを検出すると、

前記異常がある第2の再生制御データの属するデータユニットを検出し、前記信号処理工程において、該検出したデータユニットに属する前記再生制御データに従うことなく、該検出したデータユニットに属するプレゼンテーションデータを継続して再生させる制御工程と、を備えることを特徴とする情報再生方法。

[9] 前記コンテンツは、ストレージ媒体に記録されていることを特徴とする請求項6～8の何れか1項に記載の情報再生方法。

[10] 前記コンテンツは、伝送メディアを介して供給されることを特徴とする請求項6～8の何れか1項に記載の情報再生方法。

[11] プレゼンテーションデータを格納する複数のファイルと前記各ファイルの内容を管理するための再生制御データとを有するデータセットを1又は複数備えて形成されたコンテンツの再生を、コンピュータに行わせるプログラムであって、

前記コンピュータに、前記再生制御データの制御内容に従って前記プレゼンテーションデータの再生を行わせる信号処理ステップと、

前記コンピュータに、前記再生制御データの異常の有無を検出させる異常検出ステップと、

前記コンピュータが前記信号処理ステップによって前記プレゼンテーションデータを再生している時に、前記異常検出ステップによって前記再生制御データに異常があることを検出すると、前記異常がある再生制御データの属するデータセットを検出させ、該検出したデータセットに属する前記再生制御データに従うことなく、該検出したデータセットに属する最初のファイルに格納されているプレゼンテーションデータからの再生を前記信号処理ステップによって行わせる制御ステップと、を備えることを特徴とするプログラム。

[12] (補正後) プレゼンテーションデータと前記プレゼンテーションデータの内容を管理するための再生制御データとを有するデータユニットを1又は複数備えて形成されたコンテン

ツの再生を、コンピュータに行わせるプログラムであって、

前記コンピュータに、前記再生制御データの制御内容に従って前記プレゼンテーションデータの再生を行わせる信号処理ステップと、

前記コンピュータに、前記再生制御データの異常の有無を検出させる異常検出ステップと、

前記コンピュータが前記信号処理ステップによって前記プレゼンテーションデータを再生している時に、前記異常検出ステップによって前記再生制御データに異常があることを検出すると、前記異常がある再生制御データの属するデータユニットを検出させ、該検出したデータユニットに属する前記再生制御データに従うことなく、前記異常を検出した時点で前記再生制御データが特定していたプレゼンテーションデータから前記信号処理ステップによって継続して再生させる制御ステップと、を備えることを特徴とするプログラム。

[13] 複数のファイルと前記各ファイルの内容を管理するための第1の再生制御データとを有するデータセットを1又は複数備えて形成されると共に、前記ファイルがプレゼンテーションデータと前記プレゼンテーションデータの内容を管理するための第2の再生制御データとを有する1又は複数のデータユニットを備えて形成されたコンテンツの再生を、コンピュータに行わせるプログラムであって、

前記コンピュータに、前記第1、第2の再生制御データの制御内容に従って前記プレゼンテーションデータの再生を行わせる信号処理ステップと、

前記コンピュータに、前記第1、第2の再生制御データの異常の有無を検出させる異常検出ステップと、

前記コンピュータが前記信号処理ステップによって前記プレゼンテーションデータを再生している時に、前記異常検出ステップによって前記第1の再生制御データに異常があることを検出すると、前記異常がある第1の再生制御データの属するデータセットを検出させ、該検出したデータセットに属する前記再生制御データに従うことなく、該検出したデータセットに属する最初のファイルに格納されているプレゼンテーションデータからの再生を前記信号処理ステップによって行わせ、

前記コンピュータが前記信号処理ステップによって前記プレゼンテーションデータを再生している時に、前記異常検出ステップによって前記第2の再生制御データに